

日本工業大学後援会 会報

第 112 号

発行／日本工業大学後援会

埼玉県南埼玉郡宮代町学園台四―一
 ☎(〇四八〇)三四―四二二(代)
 令和元年十二月十五日
<http://nikokenkai.jp/>

R2100
 この印刷物は古紙の配合100%の再生紙を使用しています

年の瀬を迎えて



会長 鈴木 隆 (P4 埼玉)

早いもので2019年も、あとわずかとなりました。今年は、5月に改元がありました。新しい時代の幕開けに期待を持ちたいと思います。

最近の後援会の活動ですが、9月から10月にかけて教育懇談会が全21会場で開催され、好評裡に無事終了しました。私もいくつかの支部にお邪魔させて頂きました。が、どの支部も支部長さんを中心に役員の皆様が運営に熱心に取り組む、大学の先生方もきめ細やかで的確なアドバイスに応じて頂き、大変充実した懇談会となりました。今後とも今回の成果を踏まえ、さらに教育懇談会を魅力的なものにしていきたいと思っています。

また、11月17日の特別事業委員会で、本年度の事業として設置されたキャンパス西北側の境界フェンス、及び正面ロータリーの噴水前の校名サインの完成状況を確認しました。校名サインは、大変美しい仕上がりで、入学式や卒業式

の記念撮影ポイントとして多に活用していただきたいと思います。

来年度の事業は、学生用駐車場の安全運用と利便性の向上を図るべく、駐車場の電子制御式ゲートの設置工事を行う方向とし、同日開催の理事会で報告しました。今後の同委員会できさらに詳細を詰めていきたいと思っています。

さて、最近海外に生産拠点を移した企業が国内に生産拠点を戻すといったことが話題になっているようです。また、製造業の業績が回復してきたという話もよく聞きます。書籍やWEB等で実態が紹介されているのを見ると興味深い事が書かれています。それらの記事によると、日本の製造業は、過去新興国の台頭による価格競争で劣勢に陥り産業全体が衰退してきたが、ここ数年、新興国の経済が豊かになるにつれ、逆に価格競争力が下がり潮目が変わったとの事です。この、形勢が逆転しつつある背景には、日本の製造業独自の特徴があるようです。

日本の生産現場は、人手不足をカバーするため、一人が複数の業務をこなす多能工が育ってきました。一人が複数の業務をこなすた

め、生産現場は柔軟性が必要となり、そのためお互いの連携を密にするチームワークが重要となりました。擦り合わせ型と言われるものです。こういったスタイルは、製造の難しい複雑で高品位な製品の製造に適していると言われてきましたが、同時に生産性を向上させる上でも大きく寄与したと言えるようです。

しかしながら、そういった製造業の現場においても少子高齢化による人手不足、後継者不足が大きな問題となっていると言われていきます。こういった人手不足を解消するため、生産現場でのIoT、デジタル化の導入が必要とされていますが、残念ながら立ち遅れが指摘され、中には擦り合わせ型が弊害になっているといった意見まであるようです。しかしそういった課題を打破する試みも始まっている成果も出つつあるようです。

日本工業大学がこういった変化の中で、やりがいを持って取り組める人材の育成に多大な貢献されることを期待するとともに、後援会が少しでもそのサポートが出来るればと考えます。新たな令和の時代を迎え、活気とやりがいの持てる社会を願いつつ、本文を締めたいと思います。

令和元年度 地域別教育懇談会

全国21会場で開催、438組が参加

9月7日(土)から10月19日(土)にかけて全国21会場(支部主催17会場、本部主催4会場)で開催された令和元年度の地域別教育懇談会は、438組のご参加をいただき無事終了しました。ほぼ横ばいであった参加数が、今年は例年より減少したことは残念でしたが、参加した方のアンケートの回答を拝見すると、満足度は高く、参加して良かったと感じていただいています。そして、このような有意義な会に参加しないのはもったいないという感想

支部連絡協議会を開催

11月16日(土)には、支部連絡協議会(支部長会)が開催され、役員、支部長ら計29名が大学に集まり、成田学長ご臨席のもと、各支部主催の教育懇談会の実施状況について報告・反省会を行いました。

今年初めて、就職支援課と協力し、山梨県支部会場にUターン就職に関わる県職員の方に出席してもらった結果、好評のようでしたので、来年は他支部でも企画できるようにしたいと思います。



個別面談の様子 (蔵王支部会場)



懇親会で挨拶する成田学長 (新潟県支部会場)

令和元年度地域別教育懇談会実施結果一覧

M=機械工学科 P=ものづくり環境学科 S=創造システム工学科 E=電気電子工学科/電気電子通信工学科
C=情報工学科 R=ロボティクス学科 A=建築学科 L=生活環境デザイン学科 I=情報メディア工学科 H=共通教育学群

主催支部名	月日(曜)	開催会場名	対象地域	会員数	出席数	出席率	大学側出席者(担当学科)
岩手県支部	9月 7日(土)	花巻市交流会館	岩手県	23	7	30.4%	神教育研究推進室長 小崎准教授(M) 大田助教(E) 田村准教授(S) 石原教授(I) 木下准教授(A)
山梨県支部	9月 7日(土)	ホテル春日居	山梨県	24	9	37.5%	辻村教務部長 長坂教授(M) 宇賀神教授(E) 安原教授(R) 吉野教授(A)
本部(北海道)	9月 8日(日)	ホテルサンルート札幌	北海道	7	2	28.6%	磯財務部長
本部(四国)	9月 8日(日)	高知県立県民文化ホール	四国	12	2	16.7%	藤田学園事務局長
本部(九州)	9月 8日(日)	デュークスホテル博多	九州	11	1	9.1%	松永教務部事務部長
青森県支部	9月14日(土)	ラ・プラス青い森	青森県	66	24	36.4%	成田学長 加藤准教授(M) 上野教授(E) 樋口教授(R) 白木教授(S/C) 大宮准教授(I) 樋口准教授(A/L)
福島県支部	9月14日(土)	清稜山倶楽部	福島県	120	36	30.0%	辻村教務部長 細田教授(M) 石川准教授(M) 木村准教授(E) 滝田准教授(R) 渡部教授(S/C) 生駒教授(I) 松浦准教授(I) 田中准教授(A) 板橋教授(A/L)
茨城県支部	9月14日(土)	ダイヤモンドホール	茨城県	384	34	8.9%	中野教授(M) 竹本助教(E) 清水助教(E) 鈴木教授(R) 伴教授(S) 北久保准教授(I) 大山教授(I) 三坂教授(A) 勝木准教授(A)
北陸支部	9月14日(土)	富山電気ビルディング	富山県 石川県 福井県	24	11	45.8%	二ノ宮教授(M) 山地教授(I) 吉村准教授(A) 上田助教(A)
栃木県支部	9月15日(日)	ホテル丸治	栃木県	333	42	12.6%	桑原准教授(M) 丹治講師(M) 青柳教授(E) 大田助教(E) 滝田准教授(R) 福田准教授(S) 松田准教授(I) 中村准教授(I) 小川教授(A) 工藤准教授(A)
近畿支部	9月15日(日)	ホテルヴィスキオ尼崎	大阪府 兵庫県 京都府 奈良県 滋賀県 和歌山県	12	5	41.7%	松永教務部事務部長 細田教授(M) 勝間田准教授(I) 徐准教授(A)
蔵王支部	9月21日(土)	悠湯の郷 ゆさ	山形県 宮城県	49	16	32.7%	長坂教授(M) 進藤助教(E) 中里教授(R) 高瀬教授(I) 菊田准教授(A)
新潟県支部	9月21日(土)	長岡グランドホテル	新潟県	63	15	23.8%	成田学長 古閑教授(M) 清水助教(E) 宮川教授(S) 神林准教授(I) 那須教授(A) 伊藤准教授(A/L)
長野県支部	9月21日(土)	ホテル信濃路	長野県	86	31	36.0%	竹内学生支援部長 野口教授(M) 竹村准教授(E) 内田教授(P) 櫛橋准教授(R) 佐野教授(S/C) 新井教授(I) 小川教授(A) 足立教授(A)
群馬県支部	9月21日(土)	ホテルグランビュー高崎	群馬県	296	33	11.1%	村田教授(M) 瀧澤准教授(M) 石川教授(E) 木許准教授(E) 樋口教授(R) 新倉教授(S/C) 佐藤教授(I) 片岡教授(A) 吉野教授(A) 野口教授(A)
秋田県支部	9月22日(日)	秋田温泉さとみ	秋田県	12	8	66.7%	張教授(M) 吉野教授(E) 芳賀准教授(C) 橋浦准教授(I) 佐々木教授(A)
静岡県支部	9月22日(日)	男女共同参画センターあざれあ	静岡県	29	11	37.9%	林総務部長 浦川教授(R) 丸山准教授(I) 箕輪助教(A) 勝木准教授(A)
千葉県支部	9月28日(土)	バーディーホテル千葉	千葉県	292	25	8.6%	磯財務部長 平山助教(M) 平栗教授(E) 飯塚教授(S/C) 桑野教授(I) 徐准教授(A)
沖縄県支部	9月28日(土)	パレットくもじ会議室	沖縄県	5	5	100%	齊藤入試室課長
本部(近県)	10月 6日(日)	大学	東京都 埼玉県 神奈川県	2,181	119	5.5%	成田学長 辻村教務部長 竹内学生支援部長 神教育研究推進室長 林総務部長 磯財務部長 松永教務部事務部長 課長7名,MP7名,E6名, RSC7名,I6名,A5名,L2名,H3名
西中国支部	10月19日(土)	サンビーチOKAYAMA	広島県 山口県 島根県	6	1	16.7%	林総務部長 桑野教授(I) 足立教授(L)
東中国支部			岡山県 鳥取県	2	1	50.0%	
合 計			21会場	4,037	438	10.8%	延べ158名(昨年160名)

※東海支部は出席希望者ゼロのため中止

支部主催のみ

1,826 314 17.2%

※職名は開催日現在

令和元年度 後援会 特別事業

令和元年度特別事業は5月の定期総会にてご承認いただきました通り
①キャンパス西北側に境界フェンスを設置
②正門ロータリーに「日本工業大学」のサインを設置の2本立てで実施しました。



正門ロータリーに設置されたサイン (W2400×H900×D70)

キャンパスの西北側は、外部との境界がはっきりしていないため、出入りが自由な状態となっていました。後援会では、キャンパス内の安全を確保することを目的として、キャンパス西北側に境界フェンスを設置しました。また、近隣在住の学生の利便性を考慮し、出入口を6カ所設けました。全長は797・5mです。

正門ロータリーの噴水前に、入学式や卒業式の際に、記念写真の撮影スポットとなる「日本工業大学」のサインを設置しました。サインの横には立看板も設置できるようにしています。従来、大学名は、道路に面した正門にしかなかったため、交通量の多い正門付近での写真撮影は危険を伴っている状況でした。新たに、構内に設置したことにより、道路にはみ出さずに、撮影時の安全を確保することが出来ます。サインはアクリル板でできており、夜間にライトアップされると本館屋上に設置されているソーラーチューブともマッチして素敵な雰囲気になり、好評を得ています。



ライトアップされた夜間の景観

千葉県支部ホームページ始動



千葉県支部のHPが11月24日より公開されました

■堀千葉県支部長からのコメント

千葉県支部ではホームページによる情報発信を開始しました。今後はイベント参加登録など、会員の方々の利便性向上を図る方針です。

9支部で支部総会を開催

鈴木会長より北川前近畿支部長に感謝状を贈呈



下記の通り、8支部で支部長が交代しました。

開催日	支部名	新支部長(敬称略)
9/7(土)	山梨県支部	川瀬 り子
9/14(土)	北陸支部	田近 正宏
〃	茨城県支部	鈴木 貞明
9/15(日)	近畿支部	源本 将人
9/21(土)	群馬県支部	高松 徹
〃	新潟県支部	後藤 政夫(再任)
〃	長野県支部	大春 直人
9/22(日)	静岡県支部	小林 恵美
9/28(土)	沖縄県支部	普天間 瞳



学長・学生支援部長・学祭実行委員によるテープカット

第51回 若杉祭

2019年11月2～3日開催

テーマ「志」
(こころざし)

令和元年の若杉祭が、11月2・3日に開催されました。今年のテーマ「志(こころざし)」には「大学祭実行委員と参加団体が同じ方向を向いて成功を目指す」という意味が込められているそうです。セントラルスクエアに設置されたステージにてオープニングのテープカットが行われた後、仮装した学生たちが若杉祭PRのため街をパレードしました。

2日(土)には、支部合同の大学



学長の話を聴く参加者



千葉県支部の皆様



群馬県支部の皆様

視察研修も実施され、青森、福島、群馬、栃木、千葉の各支部から約40名が参加しました。成田学長より、本学の中長期計画に関する講演を興味深く聴いた後、希望者は同日開催のホームカミングデーの学内見学に合流し、主な施設設備を見学しました。

学生の模擬店も大盛況で、早々に完売しているようでした。特に留学生がつくる小籠包やゴマ団子が人気を博していました。

A large, three-dimensional sculpture of the letters 'NIT' in a bold, sans-serif font. The letters are white with black outlines and are mounted on a dark, rectangular base. The sculpture is located in front of a modern building with large glass windows.

展示された工1形103号車頭

大浴場



4